



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



サワグルミの木にとまるアオバト (撮影：ハネひとみさん)

野鳥さが200号 主な内容

- 2015年度支部総会報告 -----2ページ
- 室内学習会のご案内 -----2ページ
- 各地の観察会報告 -----3ページ
- 皆さんからのおたより -----8ページ
- 有明海の満潮時刻 -----12ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報 -----13ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から -----16ページ
- 支部からのお知らせ -----19ページ
- 近隣地区の観察会情報 -----22ページ
- 観察会場までの案内 -----23ページ
- 観察会などのお知らせ (2015年7月～9月) -----24ページ



2015年度支部総会報告

(事務局 島田洋)

【日時】2015年5月24日(日)

【場所】佐賀市大和町石井樋公園内 水ものがたり館

【参加者】宮原明幸、原秀親、友岡周一、橋本泰博、青柳隆、青柳良子、田中義一、中島修、中島由美子、松原忠夫、原野正道、島田洋、小柳政春、馬場清、久富文江、江里口立子、蒲原留美、江口富美子、田丸久子、中原正義、坂田紀子、加藤芳隆、中村さやか、中島睦子

午前8時から石井樋公園にて野鳥観察会。アオバズクやウミアイサを観察しました。観察会参加者のほとんどの方がそのまま総会にも参加されました。

午前9時55分より、橋本泰博さんの司会で総会を開始しました。

宮原支部長のあいさつの後、総会議事の議長に青柳隆さんを選任し、議事を重ねました。

第1号議案から第4号議案まで(支部総会議案書参照)提案通り承認されました。

なお、古川博英さんが事情により役員を辞退されましたので、役員の補充が必要となります。

議長解任後、意見交換を行いました。提供された意見・情報は次のような事項です。

- ① 鹿島市の小柳さんより、野生生物レッドデータカレンダー佐賀県版が紹介された。
- ② 黒髪山の自然の豊かさ・貴重さが、話題となった。
- ② ラムサール条約について、鹿島市では「横断幕」まで出ているとのこと。
- ③ 橋本泰博さんから「ケリ」について情報提供があった。
- ④ 原野正道さんから「サンコウチョウ」を見かけないとの報告があった。
- ⑤ カササギ調査報告についても話題となった。
- ⑥ 支部報「野鳥さが」ネット配信の普及を図りたい。
- ⑦ バルーンフェスタや天ぷら会などの行事がきっかけで野鳥の会に入会された方もおられるので、野鳥を中心に据えながら自然に関するさまざまな行事を計画していくことが、佐賀県支部の「会員拡大」につながるのではないか、という意見も出た。

室内学習会のご案内

【日時】2015年8月2日 8:00~9:00・・・観察会 9:30~11:00・・・学習会

【場所】佐賀市大和町・石井樋公園内の「水ものがたり館」

【テーマ】「観察会のやり方を工夫しよう」・・・2月に「探鳥会リーダーズフォーラム」に参加して各地の観察会の様子を学んでこられた馬場清さん・青柳隆さんの報告をもとに、皆さんで知恵を出し合ひましょう。

【その他】暑くて野鳥観察には不向きなこの時季。冷たい飲み物で喉を潤しながら、野鳥について語り合ひましょう。毎月行っている観察会に焦点を当て「もっと工夫することはないか」話し合ひたいと思います。たくさんの方の参加をお待ちしています。





各地の観察会報告



■馬渡島観察会報告（唐津市）

【日時】 平成 27 年 4 月 26 日

【参加者】 蒲原留美、峰松小百合、田代規生、田代祐子、小柳政春、江口富美子、田中照美、中原正義、田村耕作、山口蒼生、原野正道、田辺憲子、馬場清（案内役）

【観察された野鳥】カラスバト、トビ、アオサギ、ウグイス、メジロ、ヒヨドリ、ミサゴ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、ホオジロ、キジバト、ハイタカ、ルリビタキ、ヤマガラ、カワラヒワ、センダイムシクイ

【案内役から】

信仰心が厚い祈りの島・馬渡島に渡り、数年ぶりの探鳥会を開催しました。島の住人約 500 名。昔から仏教徒が漁港近く、カトリック教徒が山間部で生活されています。島には 100 年前より受け継がれた島独自の盆踊りがあり、地区住民の絆を深めておられます。また、島の教会は昭和 4 年に平戸から聖堂を移築したもので、イタリア様式の木造建築です。アンジェラスの鐘と共に穏やかな日々感謝し、祈りを捧げておられます。



（写真提供：馬場清さん）

以前は中学校が愛鳥モデル指定校になり、愛鳥指導を行ってきました。

冬季は海が荒れ渡船が欠航し、渡れなく悔しい思いした事もありました。

名護屋港に集合した 13 名は釣り客も多い朝一の渡船に乗船。島まで 30 分で渡りました。馬渡島漁港には地区駐在員（宮の本区長の仕事や、各種委員会・協議会の会長などを務めておられる）のお迎えを頂き、地図や探鳥コースのアドバイスを受け、予定とは逆順路で出発しました。

冬鳥、夏鳥の過渡期で姿も見えませんが、鳴き声もしません。飛び交うのはトビばかり。参加の皆さんはただ黙々と曲がりくねった坂道を上るだけ。話し声も少なくなっていた。時折鳴き声がかかるカラスバトだ！でも姿は見えず。

民家があちらこちらにあり、生活の場の匂いがする。しばらく行くと天主堂が見えた。ホッとする。聖堂内はミサが行われているのだろうか？静まりかえっている。脇のトイレを借用する。みんなで天主堂を後ろに記念の写真に納まった。移動開始。すぐに今日の本命であるカラスバトの鳴き声。黒くてドバトより少し大きく飛翔する姿を確認。皆さんも喜んだ！

担当者はこれで良かった、一時はどうなることかと・・・一安心です。

野生のヤギの親子も草を食べていた。林の中はイノシシの運動場です。

島の交流施設の「馬渡館」に到着。事前に連絡しておいたので玄関を開け、広い和室にテーブルをセットしてもらい、ゆっくりと足を伸ばし昼食を頂いた。

あまりゆっくりはできません。港まで 20 分は下り坂を歩きます。

13時の呼子行の渡船に乗り、無事に名護屋港につきました。
皆さんとは次回の観察会でお会いしましょう、と別れました。お疲れ様でした。

■見島探鳥ツアー報告（山口県萩市）

【日時】 平成27年5月2日～4日

【参加者】 青柳良子、江里口立子、加藤芳隆、高崎洋三、高崎由美、中原正義、
八木ひとみ、原秀親、吉田俊明、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】 カイツブリ、ウミウ、アオサギ、クロサギ、アマサギ、コサギ、
チュウサギ、ダイサギ、ダイダイサギ、ミサゴ、トビ、ハイタカ、ハヤブサ、オシ
ドリ、カルガモ、アオアシシギ、イソシギ、キアシシギ、ウズラシギ、ウミネコ、
セグロカモメ、カラスバト、キジバト、ジュウイチ、ツツドリ、アマツバメ、カワ
セミ、ヨタカ、ツバメ、キタツメナガセキレイ、ホオジロハクセキレイ、タイワン
ハクセキレイ、ピンズイ、サンショウクイ、ヒヨドリ、ノビタキ、イソヒヨドリ、
アカハラ、マミチャジナイ、ウグイス、オオヨシキリ、キマユムシクイ、エゾムシ
クイ、センダイムシクイ、キクイタダキ、サンコウチョウ、オオルリ、キビタキ、
コサメビタキ、メジロ、シロハラホオジロ、カシラダカ、ノジコ、アオジ、カワラ
ヒワ、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス

【案内役から】

初夏、恒例の見島探鳥行です。参加者も定番化していましたが、今回は高崎さん
御夫婦、原さん、江里口さんのデビューが有り10人の大所帯です。

佐賀を5時に出発し8時20分の萩港発の定期船『おにようず』で見島へ。

45kmの海路を1時間10分で渡る高速船です。

今日は快晴！海はベタ凧です。船も揺れることなく快調に波を切って走ります。

9時40分に見島の本港に着岸します。例年通り定宿『北國屋さん』が弁当を届
けてくれます。さあ、今年はどんな鳥と出会えるか？期待一杯に出発です。

※私事ですが、2ヶ月程前から膝が痛み出し、歩くのもままならない状態です。

皆さんの足手まといは必定での同行、膝を庇ってトテトテトテと覚束無く歩いて
います。

八丁八反、入口の畑は荒れて草に覆われています。ここはタヒバリ類のお気に入り
の場所ですが・・・此処だけでは有りません。毎年毎年、来る度に放置される
田畑の面積が増え続けています。高齢化が進み、耕作出来なくなるのでしょ
うが・・・シギチの羽を休める場所はどうなるのでしょうか？

出迎えはコサメビタキ、草叢に飛び込む鳥影はノジコです。その他、目に付いた
のは・・・ウシガエル、ニホンイシガメ、アオダイショウ、シマヘビ。鳥はノビ
タキ、アマサギ、チュウサギ・・・天気が好過ぎて通過して行ったのでしょうか？

不作です。いつもは、お昼時に着く見島ダムへは早11時に。昼食はもう少し
先の見島牛の放牧場でと、先へ進む・・・ジャケツイバラの黄色い花が盛りです。
その中を鳥影がチョコチョコ。『チヨチヨビィ - ♪』センダイムシクイ、キビタキ
も出ます。今回は、ムシクイが当たり！そこここで動きます。

『ヒーツーキー ♪』エゾムシクイも交じっています。

牧場前の木陰で昼食。大峠と宇津方面との別れ道です。例年キビタキが出る場所。果たして出てくれました。

食事を済ませて大峠へ。今日は“キビタキの杜”で、立ち寄る鳥をじっと待つ計画。ビンズイが道端に出ます。北九州の鈴木さんより情報が入ります。『今何処？ 観音平の鳥居のところにヨタカとサンコウチョウが出ているから、直ぐ来て』キビタキの杜は止めにして宇津へ下ります・・・トテトテと（笑）

ヨタカは昼間飛ぶ心配はありません。観察を続けつつ向かいます。

着いたら、『鈴木さんに頼まれ、待っていました』と広島のご夫婦。松の横枝に止ったヨタカの場所を教えてください。松林の中にはサンコウチョウも舞っています。ヨタカ、誰が見つけたのでしょうか？ 知らなければただの木の瘤です。（大満足！）15時、日差しの強い中での移動で疲れしました。

日暮れには間がありますが宿へ。

『夜、星を見る』と原さん、張り切っていらっしゃいましたが、雲が出て来ます。2日目、こちらも例年通り夜明け前より宿を出ます。雲行きは怪しいのですが雨は落ちていません。朝は軽く“幼稚園址”のミソゴイのポイント方面へ・・・昨日、あんなにいたムシクイはすっかり鳴りを潜めています。昨晚の内に抜けたのでしょうか？ 宿へ朝食に戻る頃からポツリ・ポツリ降り出した雨は本降りに。高崎さん御夫婦と原さんは、本村へ港祭りの見学に。残りの方々は雨の模様を見ながら三々五々、宿周辺で探鳥です。港横のキャンプ場ではシロハラホオジロ、キマユムシクイ、ツメナガセキレイ等が出ますが鳥種も数も芳しくありません。

2日目は終日雨（涙）

最終日、この日も雨、夜明けより観音平へミサゴの巣を観察に。

雨は小降りになって来ましたが、風が出ています。岬の先の岩礁にミサゴが営巣しています、クロサギも飛びます。北方の海原より1羽、また1羽、小鳥が入って来ます。今、渡り着いた鳥でしょう。そのまま後方の松林の方へ飛び去ります。松林の先の遊具のあるホオジロ類のポイントを覗きます。遊具と桜の木の開けた隙間をツグミ類・ムシクイ類・ヒタキ類、大小入り混じって数十羽が次々に横切ります。同定出来たのは黄色い羽のキビタキ1羽でしたが、大拳して渡って来たのでしょうか。朝食への戻り掛け、渡って来たコムクドリの群れ、アカハラ・マミチャジナイの群れも観察出来ました。予報は午後から回復でしたが、雨に降りこめられた疲れもあり10時の「おにようず」で帰路に。海へ出た途端、青空です（笑）今回は私の体調不良で皆さんには大変迷惑をお掛けしてしまい、申し訳ない探鳥行となってしまいました・・・来年も行きます。



←アイリング目立つ
サンコウチョウ

ちょっと不気味な顔（失礼）
のヨタカ→

（写真提供：八木ひとみさん）



■東与賀海岸・大授搦観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成27年5月6日

【参加者】 藤内康弘、友岡周一、山本裕子、加藤芳隆、中村さやか、中島修、中島由美子、松原忠夫、大川幸子、大川裕也、江口征信、青柳良子、永島博、新田直哉、久富文江、八木ひとみ、宮崎八州雄、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】 メダイチドリ、オオメダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、コオバシギ、オバシギ、エリマキシギ、オオハシシギ、シベリアオオハシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ミユビシギ、タカブシギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ズグロカモメ、セグロカモメ、コアシサシ、ツクシガモ、ダイサギ、アオサギ、ツバメ、ヒバリ、スズメ、ハシボソガラス

【案内役からの一言】

これまでは「大授搦」と呼ばれてきたこの広大な干潟は、国指定の保護区となり更にラムサール条約に登録される事となりました。呼称も「東よか干潟」になるそうです。私としては「東与賀干潟」と呼びたい。「東与賀」は「東与賀」です。「東よか」ではない。地名は大事にしたい。地名にはその土地の歴史がぎっしりと詰まっています。地名を軽んずると罰が当たります。

観察会当日は天候にも恵まれ、絶好の観察日和でした。ハマシギやダイゼンの大きな群れの中に、サルハマシギやウズラシギ。

さらにミユビシギ、エリマキシギなども観察できました。ハシボソガラスがやってきて、シギ・チドリの群れを追い散らしました。カラスのこの行動は、面白がっているとしか思えません。

干潟の表面には無数のカニ。おそらくは何百万という数だと思います。この干潟の生産力はすごい。

これからもこの干潟を守っていきたいものです。

野鳥観察もたっぷり楽しみました。



（写真提供：八木ひとみさん）

■脊振山観察会報告（神崎市）

【日時】 平成27年5月10日

【参加者】 青柳良子、加藤芳隆、江里口立子、大川幸子、大川裕也、織田宏、織田トキエ、田中照美、田辺憲子、友岡周一、豊岡三郎、馬場清、久富文江、福田康典、佛坂真一、佛坂安恵、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】 ハイタカ、ノスリ、キジバト、アオバト、ツツドリ、コゲラ、アオゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ミソサザイ、ウグイス、オオルリ、キビタキ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、カケス、ハシブトガラス、ソウシチョウ

【案内役からの一言】

心地よい薫風の中、脊振山中を歩きました。木々の若葉が茂り、なかなか鳥の姿は見られませんでした。キビタキ・ツツドリ・ミソサザイ・オオルリ・アオバトなどの歌声を遠く・近くに聞きながらの探鳥会でした。

■石井樋観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 27 年 5 月 24 日

【参加者】 宮原明幸、原秀親、友岡周一、橋本泰博、青柳隆、田中義一、中島修、中島由美子、松原忠夫、原野正道、山口蒼生、島田洋、馬場清、小柳政春、久富文江、江里口立子、江口富美子、蒲原留美、田丸久子、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】 ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、アオバズク、キジバト、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ウグイス（声）、メジロ、ホオジロ、オオヨシキリ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ウミアイサ

【案内役からの一言】

前日まで確認することができなかったアオバズクが、何とこの日にいたのです！つまり 23 日の夜にやって来た・・・というわけです。まるで私達の観察会に間に合わせるためにはるばる南の国から飛んで来てくれたようで、感激しました。（きっと、とても疲れているんだろうな・・・）と思いながら、今年も姿を見せてくれたことに感謝しました。

川辺では「あれっ?! カイツブリではないね! 何だろう?」と、見つめる先には一直線に水の筋が! スコープでやっと見つけた姿は「アイサだ!」とのこと。「カワか? ウミか?」と図鑑を見ながらワイワイ。結局「ウミアイサのメス」。初記録でした。他にもイワツバメ・オオヨシキリが初記録となりました。

■竜門峡観察会報告（有田町）

【日時】 平成 27 年 6 月 7 日

【参加者】 青柳良子、江口富美子、江里口立子、蒲原留美、小柳裕次郎、田中照美、田中丸雅雄、田辺憲子、中原正義、馬場清、原野正道、原秀親、久富文江、福田康則、松尾裕子、松原忠夫、松原はま子、門畑ゆみ子、山口あおい、山口武昭、山口広明、山口良枝、山澤健一、横尾香奈美、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】 アカショウビン、コゲラ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、キビタキ、オオルリ、サンコウチョウ、ソウシチョウ

【案内役からの一言】

梅雨入りし心配していた天気はなんとか持ち、会員以外の参加も多数あり盛況でした。が、肝心要の鳥は芳しくなく、アカショウビン・サンコウチョウ・キビタキの声は聞けたのですが、姿を確認出来たのはヤマガラ・ソウシチョウだけでした。



皆さんからのおたより



●「鳥図の鳥たち 第6回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

今回は夏鳥のオオルリ、クロツグミと関東では留鳥で西の方に分布を伸ばしているオナガを紹介します。

この図譜での表記はオオルリは「瑠璃」クロツグミは二つの表記があり、「黒ツグミ」と「黒〇花鳥（〇は表記できない）」であり、オナガに至っては表記がない。

図版は、瑠璃はオオルリであり、クロツグミは二つの個体のうち片方の嘴の色が抜けている。オナガは見た目どおりである。



瑠璃（オオルリ）



黒ツグミ／黒〇花鳥（クロツグミ）



（オナガ）

●「竹下製菓・竹下社長に直撃取材！！ ブラックモンブランについて聞いてきた」・・・中村 さやかさん（鹿島市）

前号の支部報で紹介したように、ブラックモンブランの棒にかなりマニアックな鳥が付いた件で大騒ぎし、「ああ、これは竹下製菓に電話して詳しいお話を聞かなければ」と心に決めていたのですが、

「ん。まて。確か知り合いの方が竹下製菓のどなたかを知っていると言っていたような・・・」
「このつてを頼れば、もしかしたら商品開発担当の方から詳しいお話が聞けるかもしれない・・・ふふふ」

と、ずうずうしくも竹下製菓の方を紹介して頂こうと、連絡を取ると、

「社長さんがブラックモンブランについてお話し下さるそうです。」

社長！ 直々に！

私は雑誌記者でも報道関係者でもなんでもないのである。バードウォッチングが趣味で、ただの興味津々な人です。

わぁ。ごめんなさい。有難うございます。ブラックモンブランも昔から大好きだけど。

そして早速お話を伺ってきました。

こういうのは勢いです。思い立ったが吉日です。うむ。



さやか（以下「さ」）・・・バードウォッチゲームが決まった経緯について。

竹下社長（以下「社長」）・・・ブラックモンブランの当たり棒のテーマは毎年変わりますが、これはいつも社内公募で社員が考えます。今回、「野鳥観察」をテーマに考えた人が一人と、もう一人「妖怪ウォッチ」的なものを考案した社員がおりました。それで、どちらのアイデアも採用することにして「バードウォッチゲーム」になりました。

さ・・・なるほどそれで「バードウォッチ」ゲームなんですね。

普通バードウォッチ・ングと語尾に ING が付いていると思ったのですが、それは子供に大人気の「妖怪ウォッチ」から来ているんですか！！ もの凄く納得しました。

さ・・・当たり棒に描かれる野鳥のセレクトについてお聞かせ下さい。

相当鳥に詳しい方が選んだのでは。

社長・・・今回「野鳥観察」を提案した社員のお父さんがバードウォッチングをされる方で、そのお父さんの影響がありました。

提案した社員もこだわりました。鳥の種類はなるべく、子供たちが知っているような親しみやすい種類を選びつつも、地元としての個性として佐賀らしい「カチガラス」も入れました。黒カラスに対抗して存在感を出してみました。カチガラスも昔に比べて減った気がしますね。社員らと図鑑を見ながら、棒に焼き付けた時に表わしやすいか？など検討を重ねました。ヘラサギは形も良かったですね。

今回は私も野鳥についていろいろと勉強になりました。

さ・・・「キツツキ（コゲラ）」や「シロチドリ」、普通はフクロウと書いてしまうはずの「コノハズク」これらのセレクトはやっぱりバードウォッチングされる方のこだわりですよね。なるほどほるほど。

さ・・・今季のこのバードウォッチというテーマは佐賀県内二カ所のラムサール条約の登録に関係しているのでしょうか？

社長・・・ラムサール条約についての専門知識は私はあまり持っていなかったのですが、結果的に登録の時期にこのブラックモンブランのテーマにすることができ、良かったと思います。佐賀の会社なので地元に貢献していきたいですね。

さ・・・確か、前年度の当たり棒が「世界遺産ゲーム」でした。

これは富士山の世界遺産登録と関係しているのですか？

社長・・・そうです。その年の流行や時勢を当たり棒に盛り込むようにしていますので。

さ・・・このバードウォッチゲーム付きのブラックモンブランは今季限りでしょうか？

（補足）ブラックモンブランの当たり棒はだいたい1年でテーマが変わります。

社長・・・ブラックモンブランは発売から47年が経ちますが、過去何度か2年同じテーマで販売した事があります。お客さんの評判が良いと次の年も同じものを販売することもありますね。バードウォッチゲームはまだ分かりませんが、評判が良ければ・・・

さ・・・ブラックモンブランは関東では買えないのですか？

九州人は関東に行くとブラックモンブランがなくて愕然とするのですが。

社長・・・ブラックモンブラン等のアイス類は、主に西日本に卸しています。

お店で買えない方には通信販売もしているのですが、ここ数年で輸送費が高くなってしまって・・・アイスなのでクールでお送りしないとイケませんので、合計すると通信

販売では、アイスの単価的にはお店で買う場合の二倍くらいになるのではないのでしょうか。社長の私がこんなことを言うのもなんですが・・・申し訳ない話です。ちなみに今年度から、原材料費の高騰などでブラックモンブランは小売希望価格が10円高くなっております。

コンビニにはブラックモンブラン、スーパーには主にスペシャルブラックモンブランを卸しています。スペシャルブラックモンブランの方が小売価格が高いのですが、スーパーでは3割引なので、コンビニでブラックモンブランを買うよりスーパーでスペシャルブラックモンブランを買った方が安いという逆転現象が起きていますね。

(補足1) 佐賀のスーパーでは常時アイスが3～4割引は当たり前。週一で5割引になるところも多い。

(補足2) スペシャルブラックモンブランは普通のものより乳脂肪分が高く、ちょっぴり高級なのです。パッケージもキラキラ。

さ・・・あ！それで、この前スーパーでブラックモンブラン買おうとしたら売ってなかったのですね！（モリナガ（佐賀県の大手スーパー）にはありました）

さ・・・野鳥の会と竹下製菓でなにか一緒にできることはありませんか？

社長・・・そうですね。アイスというよりうちではお菓子類も作っています。

鳥と関係するものとしては「鶴の里」という商品も作っています。お菓子類は主に年配の方がうちの商品のターゲットですが、佐賀に来る鳥たちのお菓子を作って若い人や子供向けの商品と一緒に作れたら良いですね。

野鳥の会等と一緒に何かするのはこちらのPRにもなりますのでよさそうです。

幅広く野鳥を考えてみましょうかね。お菓子には可能性がありますね。

この他にも、

「県庁にはなぜあんなにカラスがいるのか」「ラムサール条約とはどのような条約か」などの話題で盛り上がりました。

「東よか干潟にはわざわざ飛行機に乗って全国から野鳥観察する人が来る」

「今回のバードウォッチゲームに全国のバードウォッチャーが“どハマリ”し、購入できない東日本方面から問合せが殺到。通販を紹介するもハズレ棒でも野鳥の絵が描いてあることに狂喜乱舞し、もはやこれは野鳥界を揺るがす一大ブームになりつつある」という話に驚いていらっしゃいました。

(ちょっと私の話は大げさだったか。まあいいや。てか、野鳥界ってなんだ)

さ・・・といいますか、

いくら紹介があったとはいえ、私みたいな得体のしれない者に時間まで割いて頂いて本当にありがとうございます。(かれこれ1時間くらいお話ししてしまった)

社長・・・最初はどのような人が何の目的で来るのかよくわからなかったのですが、野鳥の会の方ということでバードウォッチゲームにこんなに関心を持ってもらったのかと。こういう反響があると嬉しいですね。

さ・・・今日はありがとうございました。お話を伺えて本当に良かったです！！

大変穏やかな優しい物腰の社長さんでした。
 地元佐賀を愛する気持ちが口調からとても感じられました。
 ますます竹下製菓のファンになりそうです。
 帰り際にはお土産まで頂いてしまいました・・・
 最後に、ご紹介して頂いた N 館長。お世話になりました。
 ありがとうございました！



佐賀の干潟 ラムサール登録で注目



県鳥のカチガラスなど8種類の野鳥が焼き印されている今年のブラックモンブランの当たりくじ

HFFの ブラックモンブラン

アイスを製造販売する竹下製菓（小城市）によると、愛鳥家を中心に反響があり、商品を販売していない地域から通販の注文が増えたり、東京都内の鳥カフェからは「コラボ商品を作れないか」との相談が寄せられたりしているという。会員制交流サイト（SNS）には「ラムサール登録を見据えた戦略？」「購入できる」九州に行かないければならない理由ができた」などの書き込みも見られる。

愛鳥家に反響、通販注文増



「ハードフォッチゲームの企画を提案した商品開発部長の宇佐美麻衣子さん

竹下製菓のブラックモンブランは1966年にさん35は「ラムサール誕生、半世紀近くのロンは意識していなかったのグセラ。九州と中国、で、偶然タイミングが重なるって驚いている」。竹下製菓社長も「結果的に販売している。

当たりくじは71年から始まり、毎年2〜3月に社員のアイデアを生かして企画を更新する。今年「ハードフォッチゲーム」は、マークが県鳥のカチガラスや渡り鳥のヘラサギ、カワセミなど計8種類。佐賀県内で観察でき、デフォルメした姿の焼き印でも一目で分かる鳥が選ばれた。企画を提案した商品開発部長の宇佐美麻衣子さんは「ラムサール登録は5月、下旬にも決まる見通し。野鳥を見に干潟を訪れた観光客が、片手に双眼鏡、もう一方にブラックモンブランを持つ日も遠くない」（田田浩一）

野鳥マーク 大当たり

野鳥を当たりくじのマークにしたことで、佐賀生まれの定番アイスクリーム「ブラックモンブラン」が愛鳥家たちの話題になっている。野鳥の飛来地として知られる佐賀、鹿島両市の干潟が、国際的な重

要湿地を保全する「ラムサール条約」登録目前というタイミングの一致もあり、「時宜に合った企画」「アイスを食べる子どもたちが佐賀の魅力を聞きつけに」との声も上がっている。

(15/5/11 付け：佐賀新聞)

●「ツバメの子育て」・・・伊藤 樹さん（神崎市）

ツバメの子育て調査にアップしている（第2日の隈荘）の可愛いツバメたちです。5羽しか映っておりませんが、後ろに1羽隠れていますので、6羽です。昨年はカラスの襲撃があったようで、無残にも巣を破壊されました。今年は順調に育っています。



●「デジブック紹介します」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

『 渡り鳥に会いたい 』 山口県見島探鳥記録

<http://www.digibook.net/d/5205c7b780d9a23d34399044808757da/?m>

『 鳥見 4月 』 佐賀市と周辺での探鳥

<http://www.digibook.net/d/e3c4ad1ba01a887cbc5c1252a08c96ca/?m>

あっちゃこっちゃ
中村 さやか

野鳥観察

恩恵授けてくれる干潟

鹿島市の新龍干潟に野鳥の観察に行きました。この場所は「肥前鹿島干潟」という新しい名称になり、佐賀市の東よか干潟とともに、ラムサール条約に登録されました。さまざまな生物を育み、

私たち人間にもたくさんの恩恵を授けてくれる干潟の大切さが、ラムサール条約の登録をきっかけに、広く皆さんに伝わればよいと思います。登録を記念して(?)、次回からは県内をパードウ

オッチングして観察記録を紹介する連載を始める予定です。楽しんでいただけるように頑張りますので、応援よろしくお願いたします。(イラストレーター、鹿島市)

(15/6/5 付け：佐賀新聞)



有明海の満潮時刻 (白石・住ノ江港)

6月	27(土)	4:43/4.4m	17:49/4.3m	8月	1(土)	9:36/5.8m	22:24/5.9m
	28(日)	5:45/4.6m	18:46/4.7m		2(日)	10:22/5.9m	23:03/6.0m
7月	4(土)	10:31/5.6m	23:20/5.7m	8(土)	2:17/4.7m	15:33/4.4m	
	5(日)	11:13/5.5m	23:57/5.6m	9(日)	3:38/4.4m	17:14/4.4m	
	11(土)	4:17/4.7m	17:28/4.6m	15(土)	9:27/5.5m	22:01/5.6m	
	12(日)	5:34/4.7m	18:41/4.9m	16(日)	10:00/5.5m	22:28/5.6m	
	18(祝)	10:18/5.4m	22:58/5.5m	22(土)	0:34/4.8m	13:09/4.4m	
	19(土)	10:49/5.3m	23:23/5.4m	23(日)	1:15/4.5m	14:17/4.1m	
	20(日)	11:17/5.2m	23:47/5.3m	29(土)	8:34/5.8m	21:19/5.9m	
	25(土)	2:15/4.4m	15:22/4.0m	30(日)	9:23/6.0m	22:01/6.1m	
26(日)	3:33/4.3m	17:01/4.2m					



満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

- 東与賀海岸
潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！
- 鹿島新龍海岸他
潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)





皆さんからの野鳥&生きもの情報



■宮崎 八州雄さん（鹿島市）

- 4月2日 【新籠】 ダイシャクシギ32、ホウロクシギ9、ヘラサギ3、
クロツラヘラサギ15、コチョウゲンボウ1
- 4月4日 【新籠】 ダイシャクシギ6、ホウロクシギ30、ヨシガモ24
【浜川河口】 クロツラヘラサギ20、ヘラサギ2
- 4月5日 【大授搦】 ムナグロ15、ミユビシギ2、アカアシシギ1、オグロシギ1、
ソリハシシギ1、チュウシャクシギ1、コアシサシ5（以上初認）
ヨーロッパトウネン1、コオバシギ1、ツルシギ8、
ツクシガモ800+、クロツラヘラサギ25、ヘラサギ5
※ミユビシギは、大授搦の干潟では初めて見た。
- 4月19日 【大授搦】 クロツラヘラサギ17、ヘラサギ2、オオメダイチドリ2、
ムナグロ14、キョウジョシギ1、オバシギ105、コオバシギ1、
エリマキシギ1、ツルシギ2、キアシシギ2、ソリハシシギ2、
オオソリハシシギ278（黄と青のフラグ個体1）、コアシサシ3、
ウミネコ2
- 4月22日 【鹿島市七浦】 ツルシギ14
- 4月29日 【新籠】 チュウシャクシギ1160+、キアシシギ15、ツルシギ10、
アオアシシギ52、オグロシギ12、ヘラサギ5、ツクシガモ220+
- 5月1日 【鹿島市中川】 ゲンジボタル1
- 5月6日 【大授搦】 コオバシギ1、シベリアオオハシシギ1、オオハシシギ8、
カラフトアオアシシギ1
- 5月6日 【鹿島市高津原】 フクロウ（声）
- 5月12日 【白石町】 ハジロクロハラアジサシ19、イソシギ10
- 5月15日 【新籠】 アオアシシギ182、ソリハシシギ27、ツルシギ9
- 5月16日 【大授搦】 トウネン1650+、サルハマシギ3、コオバシギ1、カラフト
アオアシシギ1、エリマキシギ1、オグロシギ23、アカエリヒレア
シシギ1、クロハラアジサシ1
- 5月17日 【大授搦】 ヘラシギ1 ※第1回夏羽と思われる。朝の満潮時に見られた
らしいとの情報により、九州各県から見に来られるとのことで、悪条件ながら夕方
行ってみたところ、運よく見つけることができた。 昨秋の記録も久々だったが、
春の記録は、越冬したと思われる2008年3月の個体以来。

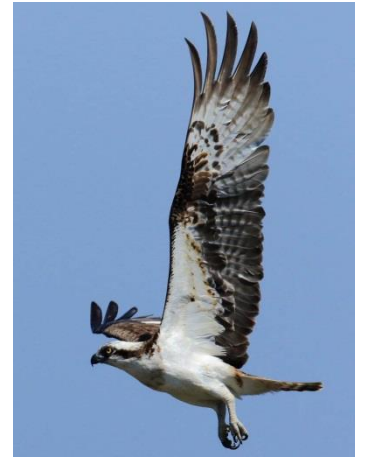
■佐久間 仁さん（横浜市）

- 5月1日 【唐津市大名小路】 サンショウクイ（声）
晴天の下、実家の庭で草むしりをしていると、上空100mほどから「ピリリリ、
ピリリリ、…」と、どこかで聞いたことのある声。 20年以上前の9月、加唐島
上空を秋の渡りで通過中のサンショウクイの声と同じでした。

■小松 常光さん（唐津市相知町）

【唐津市相知町】

- 4月14日 ミヤマホオジロ、ホオジロ、ツバメ（毎日）
- 4月15日 ジョウビタキ、キジ（声）
- 4月17日 カワラヒワ、ウグイス（声・毎日）
- 4月21日 キジバト、ホオジロ
- 4月24日 オオルリ（声）、キジ（声）、ヒバリ、ホオジロ
- 5月1日・2日 フクロウ（声）
- 5月3日 フクロウ（声）
- 5月6日 コジュケイ（声）、ヒバリ、ヒヨドリ
- 5月11日 ホトトギス（声）、カササギ
- 5月12日 コジュケイ（声）、ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、ホオジロ
- 5月13日 ホトトギス（声）
- 5月14日 キジ（声）
- 5月15日 ホトトギス（声）、フクロウ（声）
- 5月16日 キジ（声）、ウグイス（声）、ホオジロ、ヒヨドリ
- 5月23日・24日 フクロウ（声）、ヒヨドリ
- 5月25日 キセキレイ、ホオジロ、ヒヨドリ、ウグイス（声）
- 5月28日 ホオジロ、アオサギ、ツバメ、ホトトギス（声）、トビ



ミサゴ（5/13 唐津市）

【唐津市相知町千束】 5月3日・6日 カササギ

【唐津市相知町伊岐佐】 5月10日 カササギ2

【唐津市相知町中山】 5月22日 カササギ

【唐津市鏡神社】 4月24日 カササギ2

【唐津市七山】 4月26日 キセキレイ

【唐津市東唐津】 4月27日 ミサゴ

【唐津市湊】 5月10日 カササギ2

【唐津市】

- 5月10日 ミサゴ2、イソヒヨドリ2
- 5月13日 ミサゴ3、キアシシギ2、イソヒヨドリ2
- 5月22日 ミサゴ3、イソヒヨドリ
- 【唐津市呼子】 5月10日 ミサゴ2
- 【北山ダム】 5月28日 カワウ



キアシシギ（5/13 唐津市）

■豊岡 三郎さん（唐津市）

5月25日 【唐津市大良】 コウノトリ

※大良（だいら）小学校東側 50mの水田で採餌中。



■八木 ひとみさん（佐賀市）

- 4月22日 【佐賀市大和町】アオバト ※川の対岸のサワグルミを食べていました。
2日後も食べていました。好物のようです。初見でした。
4月29日 【白石町】ツバメチドリ1 ※上空をずっと見ていました。
5月17日 【大授掬（東よか干潟）】オオメダイチドリ



アオバト



ツバメチドリ



オオメダイチドリ

■加藤 芳隆さん（上峰町）

- 5月17日 【大授掬（東よか干潟）】ヘラシギ
5月24日 【佐賀市大和町「水ものがたり館」& 與止日女神社】アオバズク



ヘラシギ（中央、正面を向いている）



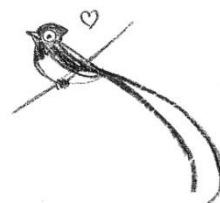
アオバズク（水ものがたり館）

※ 加藤さんのブログ「山のくまさん鳥日記」もご覧ください ※

<http://kamimine.coccolog-nifty.com/blog/>

■馬場 順一さん（鳥栖市）

- 6月9日 【基山町】イソヒヨドリ♂1 ※虫をくわえて工場敷地内へ。
昨年、一昨年も同時期、同場所で見ましたので、どこかに巣があるようです。





「地域の宝 後世に」

県内2干潟 ラムサール登録



ハマシギなどが飛来し、渡り鳥の重要な中継地となっている東よか干潟＝2013年5月、佐賀市東与賀町



佐賀県の肥前鹿島干潟(環境省提供)

佐賀市 足かけ11年保全へ決意 鹿島市 有明海再生機運に期待

「地域の宝を後世に」。県内の干潟2カ所が国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されたことを受け、佐賀市と鹿島市の関係者に喜びが広がった。地域振興への期待を高めつつ、豊かな生態系を支える干潟を将来に残す重責を担い、保全、啓発活動にさらに力を注ぐことを誓った。

▽1面参照

「登録は地域にとって大きな財産になる。この宝を後世に伝えたい」。地元で保全、啓発に取り組んできた東与賀まちづくり協議会。東島清司会長(71)は秀島敏行市長と共同会見し、喜び以上に保全活動への強い決意を語った。

「登録は地域にとって大きな財産になる。この宝を後世に伝えたい」。地元で保全、啓発に取り組んできた東与賀まちづくり協議会。東島清司会長(71)は秀島敏行市長と共同会見し、喜び以上に保全活動への強い決意を語った。

再び動き出したのは7年後。合併後の佐賀市に環境省から打診があり、市として本格的に検討を始めた。登録には関係団体の賛意が必要のため、鳥獣保護の影響などを懸念する団体に理解を求めた。登録する面積を5分の1に縮小するなど当初案を大幅に修正しながら、市職員らは理解を得るため関係団体への説明に奔走した。

その間、まちづくり協議会もシチメンソウ自生地を清掃したり、東与賀小の児童らと「ラムサールクラブ」をつくって干潟の生き物を観察したりして魅力を伝えた。講師を務める佐賀自然史研究会会長の副島和則さん(64)は「干潟はまだ分かっていないことが多く、そこが面白い。登録は子ども

たちの誇りにもなり、干潟の観察にさらに興味を持ってくれるはず」と声を弾ませた。

昨年6月に準備を始めてから1年間で登録にこぎ着けた鹿島市は、有明海再生への機運の高まりに期待を寄せる。

沿岸部の住民や研究者らでつくる市民団体「まえつみ市民の会」はこれまで、ラムサールに関する勉強会を開くなどしてきた。メンバーの中村安弘さん(36)は「熊本の荒尾鹿島市は「熊本の荒尾を含め有明海沿岸で登録が

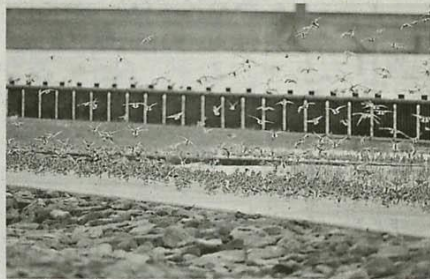
(15/5/30 付け：佐賀新聞)



ラムサール条約 新たに4カ所

有明海の2干潟登録

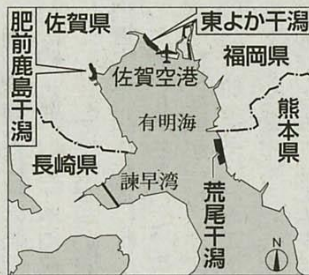
環境省は29日、国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に、日本から申請していた東よか干潟、肥前鹿島干潟（ともに佐賀県）、漕沼（茨城県）、芳ヶ平湿地群（群馬県）の4カ所が新たに登録されたと発表した。日本の登録湿地は計50カ所になった。



佐賀「東よか」「肥前鹿島」

東よか干潟（佐賀市、218㌔）と肥前鹿島干潟（佐賀県鹿島市、57㌔）は有明海の湾奥にある。有明海の干潟のラムサール条約登録は2012年7月の荒尾干潟（熊本県荒尾市）を含め3カ所になった。東よか干潟は渡り鳥が栄養を蓄

東よか干潟に飛来したシギ・チドリ日本野鳥の会佐賀支部、加藤芳隆さん撮影



える中継地でシギやチドリの飛来数が国内最多。絶滅危惧種のズグロカモメやクロツラヘラサギも見られ、13年冬にはシギ・チドリ類約7千羽が確認された。04年にも登録が検討されたが、佐賀空港を利用する航空機と鳥との衝突防止に支障が出るとの考えから立ち消えになった。12年に環境省が登録を再度打診した

当初、特別鳥獣保護区域の範囲がノリ養殖場がある沖合1〜5kmまでの約千㌔とされたため、漁業者が「鳥による被害があった時に駆除できなくなる」と不安視する声があがり、調整がつかなかった。今回は市が保護区域をノリ養殖に影響がない範囲に狭め、同意が得られた。

日本野鳥の会佐賀支部の宮原明幸支部長は「渡り鳥が栄養を蓄える場所を守ることは世界の生態系を守ることにつながる」と歓迎。佐賀大学の速水祐一准教授（沿岸海洋学）は「有明海の珍しい生き物がいる干潟を、これ以上の開発から守れる」と評価した。

一方、肥前鹿島干潟がある鹿島市は登録を「有明海再生の取り組み」と位置づける。二枚貝激減の原因究明が喫緊の課題で、市の担当者「研究機関の誘致にも生かせる」と期待する。

（松川希実）

（15/5/30 付け：朝日新聞） 記事提供：友岡周一さん

恵み豊かな干潟

デスク
ノート

西岡 成則 映像写真部

カメラをのぞくと、雲仙・普賢岳が見え、40人余りが犠牲となった火砕流に思いを巡らす。目を落とせば野鳥が群れ飛び、干潟ではムツゴロウが跳ねた。好天に恵まれた日、広大な有明海はのどかだ。自然は猛威となる一方で、さまざまな動物を育てていることを実感する。

東与賀海岸（佐賀市）で行われた野鳥観察会に参加した。野鳥の会員と一緒に歩き、確認した鳥の名前を記録。干潟にはシギやチドリ、希少種のズグロカモメが飛来するという。干潟の大きい干潟は餌が豊富なのだろう。渡り鳥などの動物にとっては菜園に違いない。

先月、佐賀市と鹿島市にある有明海の干潟が、国際的に重要な湿地の保全を目指す「ラムサール条約」に登録された。渡り鳥の重要な中継地で、多くの生き物を干潟独自の生態系が育む。「豊穡の海」が認定されたことは喜ばしい。

東与賀町内の子どもたちと住民が参加する「ラムサールクラブ」も開講。小学生が「干潟の泥について詳しく調べたい」と語っていた。子どもたちから野鳥や干潟の生き物について学び、環境を守る活動に加わることは大切な。今回の登録で、有明海の価値を再認識する機運を高めた。

（15/6/14 付け：佐賀新聞） ※西岡成則さんは佐賀新聞・映像写真部の方で、支部の観察会に何度か参加されています。



格好のシギ休息地



クリークで休憩するセイタカシギ(絶滅危惧Ⅱ類)の群れ。奥はタマネギの収穫に追われる農家



田んぼで餌を取るタカブシギ(絶滅危惧Ⅱ類)

わがまち 未来形 白石編

シギはオーストラリアや東南アジアと、シベリアなどのロシアを往来する。池や湖などではなく、餌の取りやすい浅い水辺を好む。渡りで日本に立ち寄るころの多くの田んぼは水がないが、白石には早場米の七タコシヒカリや年中水を張るレンコン畑がある。シギにとって数少ない休憩地で、秋にはロシアで生まれた幼鳥も姿を見せる。

ど多くは淡水に集まる種類。有明海の干潟など海にやってくるハマシギやオオソリハシギなどは違う。5月いっぱいまでいて旅立つていく。

シギはオーストラリアや東南アジアと、シベリアなどのロシアを往来する。池や湖などではなく、餌の取りやすい浅い水辺を好む。渡りで日本に立ち寄るころの多くの田んぼは水がないが、白石には早場米の七タコシヒカリや年中水を張るレンコン畑がある。シギにとって数少ない休憩地で、秋にはロシアで生まれた幼鳥も姿を見せる。

中村さんは白石を「飛行機でいえば空港のイメージ。燃料を補給して別の地へ向かう場所」という。「今はシギの数も休息する場所も激減し、見るのが難しくなっている。そんな中で白石はとても貴重な場所なんです」と話す。

(小野靖久、写真はいずれも中村さんやかさん提供)

白石町

白石町には毎年春と秋、多くのシギがやってくる。作付けの早い七タコシヒカリやレンコン畑にある水が、渡りの途中の格

白石平野

好の休息地になるといふ。野鳥愛好家の間では、「淡水に集まるシギが観察できる日本でも有数の場所」として知られている。

レンコン畑、水田に羽休め

(15/6/12 付け：佐賀新聞)





支部からのお知らせ

●「カササギ生息数調査」へのご協力 ありがとうございます！

(副支部長：青柳 良子)

5月末で一応とりまとめをしようと思っておりましたが、まだ回収率はよくありません。県内在住の方 133 人に調査用紙を配布してありますが、結果を送って下さった方は 6 月 5 日現在で 26 人です。(中には 自宅周辺には見当たらなかった。と返送の後、出かけたところでみつけた巣の数やカササギの様子を再度送って下さった方もいらっしゃいました。) 回収率は 19.5%とたいへん残念な結果です。

まだお手元に用紙を置いたままになっている方は、なるべく早く返送してください。

永島博さん(佐賀市光在住)からは

3月下旬、自宅前の電柱にカササギが巣を作っていました。

日に日に大きくなるのを楽しんで見ていたのですが、ある日を境にその巣が小さくなって行きました。カラスにやられた形跡もなかったので、不思議に思っていたのですが、分かりました！

引っ越しをしていたのです。

せっかく作った巣から 巣材をくわえて他の場所(30mほど先)で巣を作っていたのです。それからしばらくしたら自宅前の巣は、跡形もなく無くなってしまいました。他にも、確かに作っていたんだけど・・・無い！という巣が2～3あります。その1つに、どうも1羽だけしか見かけない。そんな巣もありました。何か理由があるのでしょうか？

原秀親さん(みやき町在住)からは

今年は 調査があつてるといふことで カササギの様子が気になります。自宅周辺以外でも多く巣を見かけました。筑後方面は増えているようです。

(親子6羽・・・つがいと4羽の子供たち・・・の写真も添えていただきました。)

松原忠夫さん(多久在住)からは

4月7日朝 巣作り途中の巣が撤去された。(自宅から北東500mぐらいのところ)

4月20日頃から 小生宅北の空き地(約120坪)の梅・ビワの樹に6羽の群れがしばしば遊びにやって来た。1羽だけ尾羽がないかと思うほど短く 頭部が黒褐色の幼鳥。

などのお便りもありました。ありがとうございました。

他県からはるばる「カササギを観たい！」と佐賀を訪れる方もいらっしゃいますが、

「県鳥カササギ」について、まず地元の人たちの意識を高めていくことが何より大切だと思いますのでよろしく願いいたします。



●支部資料室だより

(資料室管理人：青柳良子)

先日の支部総会で「資料室はどこにありますか?」「資料室にどんなものがあるのか紹介して欲しい・・・」との要望がありました。以前に紹介したことはありますが、新しい方も増えてきましたので、これからの支部報で少しずつ「資料室だより」として紹介していくことにします。今回は各県発行の支部報をお知らせします。

各県の支部報は年に2～3回 本部から送られて来ます。私達の「野鳥さが」も本部へ110部送っていますので、全国へ送られているわけです。

各県の支部報は近年1年分を保管しています。それより以前のは処分していますので観察会の折に持って行っています。ご希望の方はお持ち帰り下さっても構いません。

資料室は“小城市小城町”にあります。(24ページに地図) 鍵をかけてありますのでご覧になりたい方は『青柳(090-1659-7353)』まで連絡してください。

全 国 各 県 の 支 部 報

地方	都道府県名	支 部 報 名	地方	都道府県名	支 部 報 名
北海道・東北	北海道	あおさぎ、カッコウ、北の野鳥	近畿	三重	しろちどり
	青森	白鳥、初列風切、野鳥をたすねて〇〇年		和歌山	いっぴつ啓上
	岩手	ミサゴの海		滋賀	におのうみ
	秋田	(送付なし)		京都	そんぐぼすと
	宮城	雁		大阪	むくどり通信
	山形	(送付なし)		奈良	いかる
	福島	かもめ、きびたき、かっこ		兵庫	コウノトリ
関東	茨城	ひばり	中国・四国	鳥取	銀杏羽
	栃木	おおるり		岡山	おかやま
	群馬	野の鳥		島根	スペキュラム
	千葉	ほおじろ		広島	森の新聞
	埼玉	しらこばと		山口	やまぐち野鳥だより
	東京	ユリカモメ、多摩の鳥		香川	かいつぶり
	神奈川	はばたき		徳島	野鳥徳島
北陸・中部	新潟	野鳥会報、いそひよ	九州・沖縄	愛媛	コマドリ
	富山	愛鳥ニュース		高知	(送付なし)
	石川	(送付なし)		福岡	野鳥だよりふくおか、まめわり 野鳥だより筑豊、北九州野鳥
	福井	つぐみ			
	山梨	カワセミ		長崎	つばさ
	長野	野鳥軽井沢、いわすずめ、 かわせみ、野鳥長野		熊本	野鳥くまもと
				大分	たより
	岐阜	濃飛の野鳥		宮崎	野鳥だよりみやざき
	静岡	野鳥だより、さえずり		鹿児島	るりかけす
愛知	愛知の野鳥、雑木林	沖縄	(送付なし)		

ー筑後支部からのご案内ー

【有明海の干潟と・三池島ベニアジサシ観察会】 7月18日（土）

～昨年につき、今年も夏休みの一日、有明海の干潟と干潟の生き物、そして三池島のベニアジサシを、大川市の遊覧船・おかむら丸で筑後川河口～有明海・、三池島を巡る観察会です～（ベニアジサシは大牟田市の宝物 100 選に選ばれている海鳥で、オーストラリアなどから昨年は 600 羽を越す群れが繁殖のために飛来しました。三池島は北限の集団繁殖地です）

◇主催：日本野鳥の会筑後支部

★担当：別府正俊 携帯 070-5410-4992

◇共催：NPO法人有明会、矢部川をつなぐ会

◇集合：大川市若津港・花宗渡船場 9：00 解散 14 時頃の予定

（豪雨・波高の場合中止）

◇交通：交通の便が悪いので車で。（港周辺は工事中なので、筑後川河川事務所大川出張所・筑後川交流館「はなむね」に駐車下さい。駐車後歩道橋を渡って渡船場へ）

◇持ち物：弁当、水筒。筆記具、あれば双眼鏡。

◇参加者：一般・児童。募集定員30名。（先着順・1グループ5名まで）

◇参加費（保険代含む）：大人500円、中高校生300円、小学生以下100円

◇申込締め切り：7月10日（金）迄に（保険手続のため住所、氏名、電話番号、生年月日を添え）筑後支部担当「別府」、または支部事務局「松富士」へ

★日本野鳥の会筑後支部事務局

〒839-0853 久留米市青峰 1-14-29（松富士将和方）

電話/Fax 0942-45-1150 携帯 090-7159-3933

メール hohoduku@orion.ocn.ne.jp





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費一般 300 円・会員 100 円・中学生以下無料)

日時：7月5日(日)、8月2日(日) 8:00~11:00 (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：8:00 玄洋高校北西の端道路

日時：7月7日(火)、8月4日(火) 10:00~ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：7月11日(土)、8月8日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：7月12日(日)、8月9日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：7月19日(日)、8月16日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：7月25日(土)、8月22日(土) 8:00~11:00 (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：8:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費 100 円)

日時：6月28日(日) 9:00~ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・延命公園 / 集合：9:00 延命公園の体育館西側広場

担当：永江和彦さん TEL：080-2793-0553

日時：7月18日(日) 有明海の干潟と三池島ベニアジサシ観察会 (企画探鳥会)

場所：大牟田市周辺 / 集合：9:20 大川市若津港・花宗渡船場

担当：別府正俊さん TEL：070-5410-4992

※詳しくは21ページの案内をご覧ください。

MINI BIRD GALLERY " 飛翔 "



カワウ？ ウミウ？ どっちかな
(撮影：八木ひとみさん)



ハマシギ軍団 (撮影：中村さやかさん)

~編集部からのお知らせ~

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp

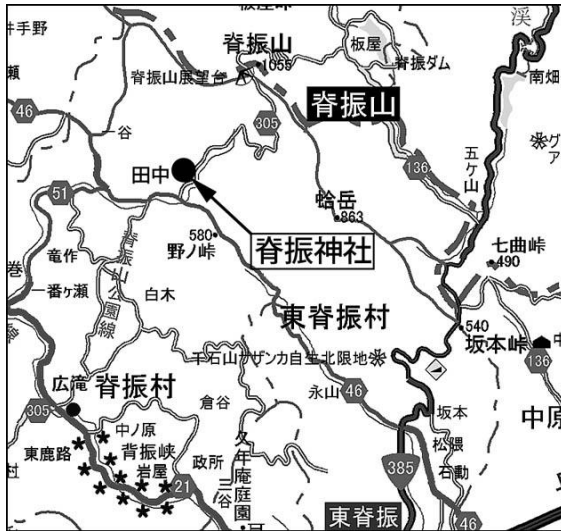




観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①7月12日 神崎市脊振町・脊振山



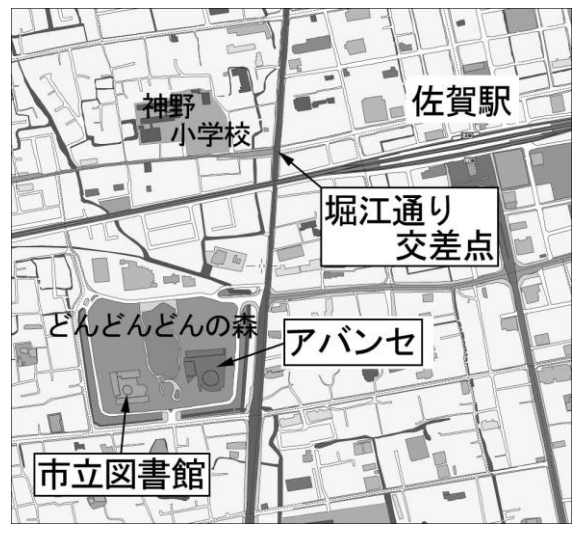
②7/19 ④8/30 ⑥9/13 東与賀・大授搦



③8月2日 大和町・石井樋観察会&学習会



⑤9月6日 室内学習会(佐賀市立図書館)



編集後記・・・支部報「野鳥さが」は通算 200 号を迎えました。第 1 号は「日本野鳥の会・佐賀県連絡会便り」として平成 5 年 3 月に発行。その後「支部設立準備会だより」を経て平成 6 年 6 月の 16 号から「野鳥さが」となりました。「野鳥さが」は『編集・原稿出力・印刷・製本・発送』とすべて会員の手作りで行われています。以前は大勢で集まり、封筒に切手をうまい具合に組み合わせて一生懸命貼っていました。大変な作業でしたが、結構楽しかったですね。「野鳥さが」は会員の皆さんからいただく情報や投稿で成り立っています。これからも紙面をより良くしていくために皆様のご協力をお願いします。なお、200 号記念というわけではありませんが、第 1 号からカラー支部報配信化前の 133 号までをパソコン等で見られるようにファイル化しましたので、ご希望の方は編集係りまで、お知らせください。(連絡先は 20 ページに記載) カラー支部報についても近いうちに公開したいと思います。





観察会などのご案内 (2015年7月～9月)

①7月12日(日)

脊振山観察会(神崎市)

[時間&場所] 08:00

神崎市脊振町腹巻の脊振神社(下宮)

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085

[見どころ] 梅雨明けの脊振の山へ、カッコウの歌声を聞きに行きます。

③8月2日(日)

石井樋公園観察会& 室内学習会(佐賀市)

[時間&場所] 8:00 佐賀市大和町 石井樋公園
の「水ものがたり館」

[担当] 青柳良子さん(小城市) 090-1659-7353

8:00～9:00 石井樋公園観察会。

9:30～11:00 水ものがたり館で室内学習会。

テーマは「観察会のやり方を工夫しよう」

[観察会の見どころ] チドリたちの子育てが見られるかも・・・ ※詳しくは2ページをご覧ください。

②7月19日(日) ④8月30日(日)

⑥9月13日(日)

東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] (7/19&8/30) 9:00

(9/13) 8:00 東与賀・大授搦海岸展望台

[担当] 田中丸雅雄さん(佐賀市)

[見どころ] 北で子育てを終えたシギ・チドリたちが、南へ渡る途中に立ち寄ります。夏羽→冬羽への変化の様子を観察しよう。

⑤9月6日(日)室内学習会

「ラムサール条約と有明海の 干潟について知ろう(仮称)」

[時間&場所] 14:00～16:00 佐賀市天神の
佐賀市立図書館 2F・多目的ホール

[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286

※詳細は次号にてお知らせします。

共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問い合わせは各担当か事務局まで。

【支部資料室】



「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～

公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2626(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸

事務局：島田 洋(電話：携帯 090-2393-1286)

〒849-0934 佐賀市開成1-3-11

郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」